

令和2年度秋季特別展

信長と秀光の時代

戦国近江から天下統一へ

明智光秀画像復元模写(当館蔵)

藤田田代(戦国)模写(当館蔵)

重要文化財 近江名所図(滋賀県立近代美術館蔵)

令和2年 10月10日(土) - 11月23日(月・祝)

- 開館時間：午前9時～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで） ●休館日：月曜日（ただし、11月23日(月・祝)は開館）
- 入館料：大人900円(690円) / 高大生640円(470円) / 小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円)
- ※()は20人以上の団体料金です。 ※「信長の館」との共通券：大人1,190円 / 高大生720円 / 小中生430円 / 県内高齢者(65歳以上)850円

●主催：滋賀県立安土城考古博物館



第50回滋賀県芸術文化祭参加事業



近江風土記の丘
 滋賀県立 安土城考古博物館
 Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum



重要文化財 近江名所図 左隻 (滋賀県立近代美術館蔵)

令和2年度秋季特別展

信長と光秀の時代

— 戦国近江から天下統一へ —

信長や光秀が活躍した16世紀後半は、中央政権の力が弱まった結果、各地の戦国大名が領国支配を固め勢力拡大のために戦い、民衆は生命や財産を守るために団結し自治を行う、混乱しつつも活気にあふれた時代でした。加えて、ヨーロッパ世界と出会い、その文化や信仰・文物がもたらされることで、大きな変化を余儀なくされた時代でもありました。

そのような中、明智光秀は天下統一への道を歩む信長と出会い、家臣として実力を発揮して信長を支えますが、最終的に本能寺の変で謀叛を起こします。今年注目の的となっている光秀と信長。彼らの生きた時代を、残された資料から紹介します。



織山佐々木城及屋敷跡画図 (五箇荘川並町自治会蔵)

【主な展示資料】 ○は重要文化財 △は県指定文化財
 ◎近江名所図 (滋賀県立近代美術館蔵) ※前後期で隻を入れ替えます。
 ◎五箇商人申状案—今堀日吉神社文書— (東近江市日吉神社蔵) ※前期
 織田信長制札—福島伊豆家文書— (個人蔵)
 明智光秀書状—益田家文書— (個人蔵)
 明智光秀書状—伊藤晋家文書— (滋賀大学経済学部附属史料館蔵) ※後期
 豊臣秀吉画像 (多賀町多賀大社蔵)
 (前期) 10月10日～11月1日 (後期) 11月3日～11月23日



△六角氏家臣連署書状—芦浦観音寺文書— (草津市観音寺蔵)



△明智光秀禁制 (多賀町多賀大社蔵)



南蛮冑 (大阪城天守閣蔵)



〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678
 Tel. 0748-46-2424 Fax. 0748-46-6140
 e-mail : gakupei@azuchi-museum.or.jp
 URL : http://www.azuchi-museum.or.jp

— 近江風土記の丘 —
 滋賀県立 安土城考古博物館
 Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum
 ※滋賀県立安土城考古博物館は、(公財)滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。